

平成25年度 村上市社会科部 活動報告

部長 木村 哲也

1 研究主題

社会的事象について資料をもとに、自分の考えを表現する指導方法の工夫

2 研究の概要

社会科で求められている「考える力」とは、「社会的事象について、資料等の情報をもとに比較や関連付けといった学習活動を通して、課題に対する自分なりの結論を出す力」ととらえる。そのためには、以下の4つの力を育成する必要があると考える。

ア 対象となる社会的事象についての課題を「とらえる力」(課題設定力)

イ 課題を解決するために「調べる力」(情報収集力、資料活用能力)

ウ 調べて得たことを「分析する力」(情報選択力、比較・関連付ける力)

エ 得た情報を根拠にして、課題に対する考えを「まとめる力」(論理力)

授業では、課題に対して調べ学習を通して情報を得ることはできても、それらの情報を課題解決するために活用する効果的な手立てが不足することが多い。

そこで、授業研究を通して、ウの「分析する力」の育成に重点付け取組を進めた。

3 研究の実際

① 講演会

- ・ 期 日 平成25年6月25日(火)
- ・ 会 場 村上市立保内小学校 会議室
- ・ 講 師 元村上小学校長 渡辺 伸 栄 様
- ・ 演 題 「ブレない教育を～社会科指導を通して～」
- ・ 内 容 ブレるのは、流行に流されるからである。

ブレないためには、全体構造から本質を押さえることが大事である。そのために、I 指導内容を体系的に把握する。～「社会認識を培う」ために、対象範囲を発達段階に応じて学ばせる。II 基礎的技能は繰り返し鍛える。～読み・書き・計算・見る・聞く・話すを他教科とも関連付けて。III 指導方法は問題解決学習で、子どもたちの力で発見したかのように導く。～「みんなで考えたら、すごいことが分かった」という場面作り。



② 授業公開

- ・ 期 日 平成25年10月7日(月)
- ・ 会 場 関川村立関川小学校
- ・ 授業者 第3学年担任 加藤 僚 教諭
- ・ 単元名 「見直そう わたしたちの買い物」
- ・ 指導者 下越教育事務所 指導主事 榎田 博之 様
- ・ 授業の概要 見学を通して地域のスーパーの良さをたくさん発見した。便利でよいお店なのになぜ遠くのお店まで買い物に行くのかを文型を用いて一文で考え、友達と意見交流をしていく中で、遠くのお店にも良さがあることに気付かせようとした。
- ・ 指 導 ○地元のスーパーがベースであり、遠くのお店の良さがよく分かっていない状態では、発問から子どもの思考はかけ離れてしまう。
○本時で、何を学ばせたいのかを明確にしておくことが大事である。
○社会科における言語活動の充実に努めてほしい。



4 成果と課題

「分析する力」の育成には、指導要領に明示されている目標を達成する学習問題をたて、適切な発問やワークシートなどの手立てを考え、子どもたちに課題を考えさせていくことが大事である。また、そのために、教師は社会科の本質を押さえることも大切である。

今後も研修を重ね、全ての先生方に「してみたいくなる」授業の提案を行っていく。